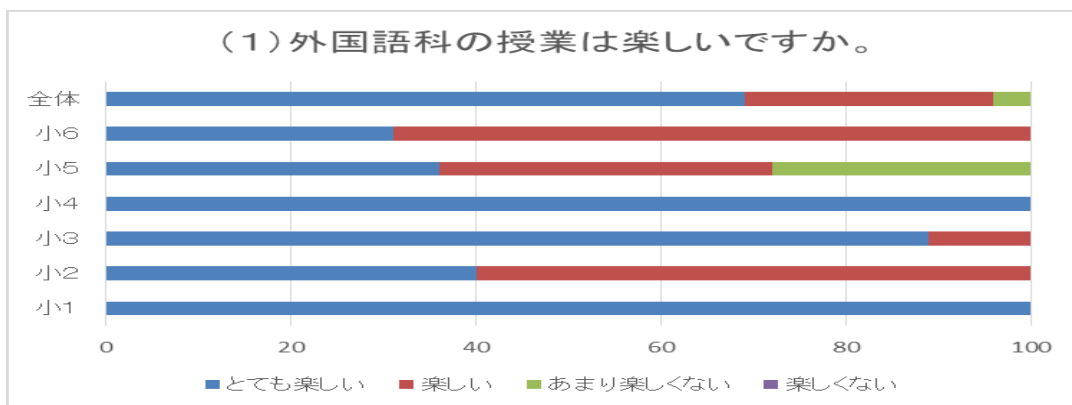


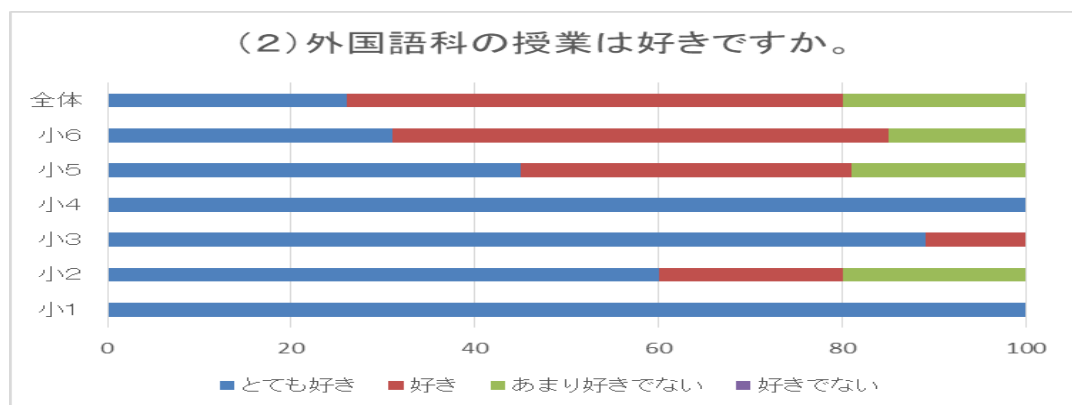
外国語科に関する調査結果(R4年度)

天草市立栖本小学校

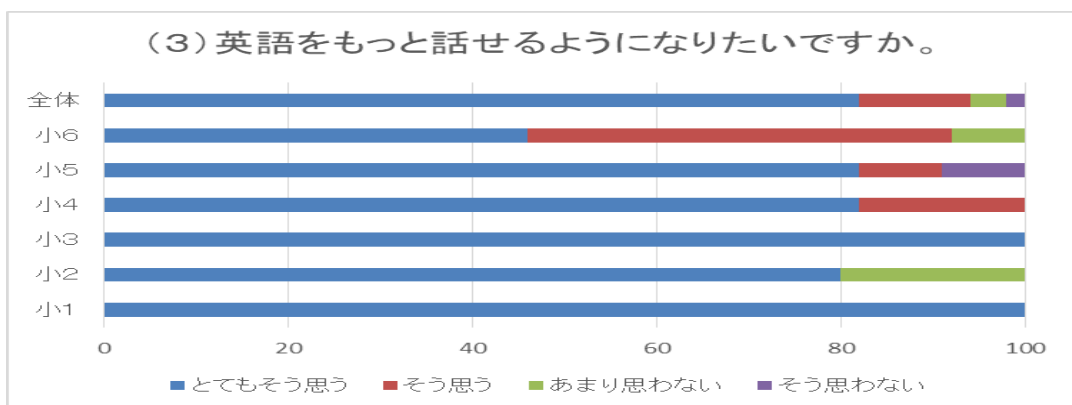
【児童へのアンケート結果より】



学校全体では90%以上の児童が外国科の学習を楽しいと答えている。意識には学年差が多少見られ、特に4年生と1年生はとても楽しいと全員が答えている。



学校全体では80%の児童が外国語科の授業を好きだと答えている。学年毎に見ると、4年・3年・1年はほぼ全員が好きだと答えているが、他の学年ではあまり好きでないと答えている児童も20%ほど見られ、高学年になるほど、その傾向がある。外国語の学習活動が難しいと感じているためであり、外国語で伝え合うコミュニケーションを楽しむような授業内容の工夫が必要である。



80%以上の児童が外国語を話せるようになりたいと強く感じている。これは、ALTの学習への参加を通して外国語でコミュニケーションをとることへの楽しさを感じ、もっとうまくなりたいという思いを持っていることからである。このことから英語を使う良さを実感している児童の姿が感じられる。

保護者・学校関係者から

- ・英語をバイリンガルな発音で聞く機会が小学生の時代にできて、ありがたい。
- ・授業がどのように行われているのかとても興味がる。
- ・英語をより専門的な視点で教えてもらえるのがありがたい。
- ・保護者の声からはとても外国語の学習を小学校でしていることに共感的であった。学んでいる場を見てみたいという意見もあり、今後授業公開等で英語の学習をしている様子を保護者や地域に公開しさらに理解を深める必要を感じている。